

なつやすみ☆子どもひろばを開催しました

今年度は、新型コロナウイルスの影響で講座が例年の半分の5講座になった上、定員を減らしたり、活動時間を短縮したりするなど感染防止策を講じながらの開催となりました。その中でも所沢北高校の生徒さん(卓球、万華鏡教室)をはじめ、地域の方々や新所沢東公民館登録サークルの多大なるご協力により、160名(延べ)の小学生が様々な教室に参加しました。ご協力くださった皆様、改めてありがとうございました。



将棋教室 (7/20~ 毎火曜全5回)
協力・新所沢東将棋同好会



陶芸教室 (7/31)
協力・陶和会



ミニテニス(8/24、25)
協力:ミニテニス優飛
紙面の都合で写真での紹介が一部の講座のみとなっております。ご了承ください。

新所沢東地域包括支援センターからお知らせ

1日5分の軽体操

日時: 10月27日(水)

午後2時~午後3時15分

講師: デイサービスセンターしあわせ花園 管理者 石丸 智行 氏、看護師 徳永 芳子 氏

会場: 新所沢東まちづくりセンター 講堂

内容: 自宅のできる軽体操、食と生活習慣の話

定員: 20名 (申込み先着順)

10月1日(金)~受付開始

動きやすい服装で
お越しください

【新型コロナウイルス感染症対策のお願い】

- ◆検温と健康チェックを行います。
- ◆マスク着用でご来場をお願いします。
- ◆アルコール消毒をお願いします。

新型コロナの影響で変更・中止となる場合があります。

【問合せ】新所沢東地域包括支援センター
2968-8899

住所: 松葉町11-1 マルハビル5階



地域包括支援センターは所沢市の委託により運営しています。

叱らない! ほめない! それでも子どもは自立に向かいます!

勇気づけの子育てを始めてみませんか?



講師 徳永 知佐さん (日本アドラー心理学会認定 家族コンサルタント)

日時 11月5日、12日、19日、12月3日(各金曜) 全4回
午前10時から正午まで

定員 10名 応募多数抽選

対象 平成30年4月2日~平成31年4月1日生まれの子の保護者
同室保育あり

会場 新所沢東まちづくりセンター(公民館) 講堂・研修室4号

持ち物 筆記用具、お子さんに必要なもの、水分補給をできるもの ほか

申込方法 10月4日~22日のあいだに電子申請

問合せ 所沢市生涯学習推進センター 2991-0303

2~3歳の子どもは言うことを聞かなかつたりイヤイヤしてしまったり、何かと手がかかってしまいますよね。この講座では、今日から育児シーンで使える「ちょっとした工夫」をご紹介します。可愛い我が子がさらに可愛く思える、そんな素敵な体験をしてみませんか?

生涯学習
推進センター
共催



<申込み>

これからの“しんとこ東”を創造する

今回は、伸栄小学校最初の入学生で、美原小学校卒業1期生の本橋 弘子 さんからお話を伺います。現在は松葉町で、小学生、中学生向けの学習塾を運営され、また英語・国語の指導もされています。ご自身の生い立ちを振り返りつつ、地域の将来について語っていただきます。

伸栄小から美原小への編入で培われた創造性と開拓する力

今から50年ほど前、私が小学1年生になった年に伸栄小が開校し入学したのですが、まだ当時は門も柵もなく見渡す限り野原でした。松葉町から伸栄小まで1年生の足で毎日通うのは結構大変だったと記憶しています。この時まだ美原小はなかったのですが、急激な人口増加が進んでいたこともあり、私が5年生になる年に美原小が開校(伸栄小同様、門も柵もまだありませんでした)しました。当時、北所沢町、松葉町、美原町に在住していた子どもたちは伸栄小から美原小に編入となりました。ただし、6年生だけは特例で伸栄小に残ったので、美原小に編入した5年生である私たちの学年が最高学年となりました。

当時の美原小の先生からは、「最高学年として2年間プライドを持って学校を作っていけ」と言われたことが強く印象に残っています。校章を選定する公募があった際も同級生のアイデアが採用されるなど、何もないところから新たに作り出していく環境に置かれる中、多くのことに取り組める小学生時代だったと思います。仲間とゼロから創出することで、学年・学校としての一体感を持つことができ、その後、美原中学校に進学後も小学校時代に培った創造性や開拓する力により、達成感や満足感を得られていたのではないかと思います。



「ミハラ」と「小」を組合せて作られた美原小校章

塾を運営し感じること

現在、中学生向けの塾は受験対策だけでなく、進路指導(キャリア教育)も担っています。中学生の時期に将来の進路について考える機会が少ないことは、目標を立てそれに向けた努力や達成する機会を減らしていると思います。大人主導ではなく、子ども自らが定めた目標に向かって自分自身どう努力していけるかその姿勢が大切だと考えます。子どもたちが、目標に向け努力するプロセスを大切にしつつ、受験や学習等を通して「自分に自信と誇りをもって生きられる生き方ができるよう」応援したいと思っています。そして達成感や満足感を得てほしいと切に願っています。

また女性が活躍する社会が当たり前となった昨今、コロナ禍で、仕事と子育ての両立に悩んでいるお母さんが多いように感じます。女性塾長として相談を受けることが多々あります。そういった家庭にも何かサポートができないかと日々考えています。

これからの新所沢東地区に必要なこと

近年の少子高齢化や核家族化によって、子どもと地域の関係性が希薄になっていると感じています。私が幼少期の頃、親族はもちろん新所沢地域の人々と行事等を通じて多く触れあい、支えられて成長してきました。しかし、社会が大きく変化する中で、気が付けば子どもの数が減り、親同士が子育てについて交流する機会や、助け合える環境が少なくなっています。

この東地区には児童館がありません。私は児童館のような機能を持った施設が必要だと考えます。幼い子どもを抱えた保護者が日々支え合える環境づくりが求められています。公民館やその他の施設がもっと子育て、保護者とのコミュニティを形成してほしいです。

今後行政、学校、地域が一体となって「しんとこ東の子どもたち」を育てていく姿勢が必要だと思います。町全体で子どもたちを育てていくことが様々な事情を抱えている家庭だけでなく、新たに新所沢に移住してきた家庭にも、もっと魅力的な町となるのではないのでしょうか。

本橋 弘子